

～武士のくらしを調べよう～

年 組 名 前

松江城の東側で、堀尾氏時代の家老屋敷跡が発掘されました。そこから出てきた物を見ると、江戸時代の武士の家庭のくらしが見えてきます。



松江城下町遺跡



地下の穴の跡



出土した遺物

屋敷跡からは、石の列や穴、大量の陶磁器や土器、木製品、金属製品が見つかりました。

challenge



① 左の写真のものは、現代でいうと何にあたるでしょう。右のイラストを合うものを線で結びましょう。



茶道具



けしょう道具



書道具



おもちゃ



調理道具



あか 灯り



げた 下駄

人々は下駄をはいて城下を歩いていました。四角い下駄は男性用。丸いのは女性用、小さいのは子ども用。大人用の長さは20～22 cmのものが多かったです。



食生活

食べ物の残りがすも出土していて、イノシシやシカ、スッポン、タイ、スズキ、カモ、鶏、キジ、赤貝、シジミなどが見られます。

② 現代の道具と1番ちがっていると思う江戸時代の道具を選んで、どこがちがうか書きましょう。

- ・おもちゃは、木でできた物がほとんどで、刀などの武士の子どものおもちゃだ。
- ・灯りは、電気でなく、油を使って火で明るくしているところが違う。
- ・調理道具は、金属やプラスチックのものがない。 など...